

文15 「①かかる道は②いかで③か④い  
まする。⑤と言ふを⑥見れば、  
⑦見し人⑧なりけり。」

問一 傍線部①「かかる」は「この  
ような」という意味である。  
「かかる」道とはどのような  
道を指すか。

ア いと暗き道 イ いと細き道  
ウ いと暗う細き道  
エ いと暗う細きに蔦・楓の茂る道

問二 傍線部②の訳は？

ア どうして イ 何を ウ いつ  
エ どこで

問三 傍線部③について

(一)ここでの意味は？

ア 強意 イ 疑問 ウ 反語

文15 「①かかる道は②いかで③か④い  
まする。⑤と言ふを⑥見れば、  
⑦し人⑧なりけり。」

### 問三 傍線部③について

(2) この語があると文末は何形になるか。

ア未然 イ連用 ウ終止 エ連体  
オ已然 カ命令

(3) この語によって(2)の活用形になっ  
ているのは次のどちら？

ア いまする イ けり

文15 「①かかる道は②いかで③か④い  
まする。⑤と言ふを⑥見れば、  
⑦し人⑧なりけり。」

問四 傍線部④の終止形は「いま  
す」は「いらつしやる」と訳  
す。これは次のどれにあたる  
か。

ア 尊敬語…主語を持ち上げて、**主**  
**語**に対する敬意を表す。

例 お客様が**話す** **主語を高める**  
↓お客様が **話される**

イ 謙譲語…主語を低めて、**相手に**  
**対する敬意**を表す。

例 私がお客様に**話す** **私を低める**  
↓私がお客様に**申し上げる**  
ウ 丁寧語…丁寧な言葉を使うこと  
で**聞き手や読み手への**  
**敬意**を表す。

例 「机**がある**。」  
↓「机**があります**。」  
**聞き手・読み手に丁寧に**

文15 「①かかる道は②いかで③か④い  
まする。」と言ふを⑤見れ⑥ば、  
見⑦し人⑧なりけり。

問五 傍線部⑤「見れ」の終止形は  
「見る」で、「ひいきにみ  
る」の中にあるから上二  
段活用で、活用パターンは  
「イ―イ―イる―イる―イれ―イ  
よ」。この「見れ」の活用形  
は何か。

ア未然 イ連用 ウ終止 エ連体  
オ已然 カ命令

」

文15 「①かかる道は②いかで③か④い  
まする。⑤と言ふを⑥見れば、  
見⑦し人⑧なりけり。

問六 傍線部⑥の「ば」は次の三つ  
の訳を持つ。この場合はど  
れ？

アもしくならば

※未然形＋「ば」

イゝので

※已然形＋「ば」で、

「ば」の上の出来事が原因で、

「ば」の下が出来事が起こった。

ウゝするとゝゝしたところ

※已然形＋「ば」で、

「ば」の上の出来事のあと、

「ば」の下が出来事が

たまたまが起こった。

文15 「<sup>①</sup>かかる道は<sup>②</sup>いかで<sup>③</sup>か<sup>④</sup>い  
まする。<sup>⑤</sup>と言ふを<sup>⑥</sup>見れば、<sup>⑦</sup>見<sup>⑧</sup>し人<sup>⑧</sup>なりけり。

## 問七

文中に「し」という単語があつた場合、次の三つの可能性があるが、傍線部⑦の「し」は次のどれにあたるか。なお、「し」の前にある「見」の終止形は「見る」で、「み—み—みる—みる—みれ—みよ」と活用します。

## ア

サ変動詞「す」の連用形

◎せ—し—す—する—すれ—せよ

◎「する」と訳せる。

例 うつくしきさまして

## イ

過去の助動詞「き」の連体形

◎せ—〇—き—し—しか—〇

◎連用形＋「し」＋名詞

▼連用形につく助動詞

▼連体形だから下に名詞

## ウ

強意の意味を付け加える助詞

◎削除しても不自然にならない。

文15 「<sup>①</sup>かかる道は<sup>②</sup>いかで<sup>③</sup>か<sup>④</sup>い  
まする。<sup>⑤</sup>と言ふを<sup>⑥</sup>見れば、<sup>⑦</sup>見<sup>⑧</sup>し人なりけり。

問八 「なり」という助動詞は次の  
二種類あるが、傍線部⑧はど  
ちら？

ア断定（だ・である）の助動詞

※体言（<sup>①</sup>名詞）や連体形につく。  
「なり」

イ 推定（ようだ）の助動詞

※終止形につく。（ただし、ラ変  
には連体形につく。）  
「なり」

このページは空白ページです